

想像のさらに上をいくかたちで
“好き”を表現してくれる
驚き・大満足のウエディング

ウエディングをゼロからトータルコーディネートする黒沢祐子さん×MUKUによる、オンリーワンのシナジー効果。それがいったいどんなかたちで花開いていくのか。2018年、パレスホテルで式をあげた脇阪翔太さん・亜柚美さんご夫婦を交えて、お話を聞いた。

— 黒沢さんにウエディングをお願いしたきっかけについて教えてください。

亜柚美さん：「あるヘアメイクさんのSNSで、“とても素敵！”と思った写真すべてに、祐さんがクレジットされていたんです。それがきっかけですっかりファンになってしまい、祐さんは憧れの女性でした。正直、結婚式にはあまり興味がなかったのですが、“祐さんが創ってくださるならやりたい！”と思い、ご連絡してみました。それで、一度お会いすることになり、憧れの方に会えるわけですからもう緊張してしまっ……普通に雑談をしたのですが、今考えると、会話の中から結婚式への考えや、私の好みなどを引き出してくれたように思います」



黒沢：「有り難いことに私に興味を持ってくださっていたので、最初から話がスムーズに進んでいった印象です。亜柚美さんは、今は妹のような存在でもあり、会えば彼女もいろんなことをマシンガントークでお話してくれるんですけど、初対面のときはそんな感じではありませんでした。猫を被っていたのかな？(笑)」

亜柚美さん：「お会いするときはいつも緊張するのですが、あのときはさらに緊張していたんです！」

— 式を一から作り上げていくにあたり、リクエストをしたことはありますか？

翔太さん：「これまでに何度も結婚式に出席してきた友人や上司でも“来てよかった！”、“楽しかった！”と感じてもらえるような式にしたいとお伝えしました。私たちのためにわざわざ時間を作って来てくださるので、期待以上の高揚感を得てほしいなという思いが強かったです」



亜柚美さん：「そうですね。具体的に何がしたいというはなかったのですが、みんなにあって驚いてもらって、楽しんでいただける式にしたいという共通の思いがありました。あと、いわゆる“THEホテルウエディング”的な装花の感じには抵抗があるというお話しもしました」

— 式のコンセプトは「LA」ということですが、巨大な木が目を惹きますね。

黒沢：「お話ししていくうちに、おふたりともLAが好きだということがわかってきたので、LAっぽさのあるちょっとドライな雰囲気の世界観を固めていくことになりました。それからMUKUさんと一緒に5人で話し合いながら創り上げていった感じですね。また、亜柚美さんが自分の好みのものをいろいろまとめてくださっていて、それとても参考になりました。インパクト抜群の巨木は、葛谷さんのアイデアでしたね」

葛谷：「巨木などのドライ系の木々やお花もしかり、なかなか通常では使用しない素材を多く使いました」

翔太さん：「御三方が早い段階から会場の雰囲気やイメージをご提示してくださっていたのですが、正直僕たちはあまりイメージができませんでした。特に僕がだったのですが……。なんせ、お話しして下さったような式に、これまでに参列したことがなかったもので」

亜柚美さん：「でも、サンプルアップで演出の一部を見せていただいたから、一気にイメージが湧いたでしょう？」

翔太さん：「そうですね。正直、それまでは少し不安があったのですが、お任せして大丈夫だと安心できました。期待以上のものができそうだというワクワク感も出てきましたね」

黒沢：「サンプルアップをする会場はほとんどないのが実情です。なぜならホテルウエディングは、パッケージが多いから。そんななかで、毎回丁寧にサンプルアップをしてきて、話し合い、最高のものを創り上げるために、納得のいくまでとことんクリエイティブに……というのは、MUKUさんとだからできることだと思います。ときに無理を言っても柔軟に対応していただけるところは、本当に唯一無二だなと思います。」



— 式の当日、会場の全体像を初めて見たときはいかがでしたか？

亜柚美さん：「もう、大感動でした！会場に入った瞬間鳥肌が立ち、最高に嬉しいサプライズももらった感覚です。想像の上をいくかたちで、自分の“好き”が詰まっていたね。ゲストだけでなく両親や親族もとても楽しんでくれていて、満足度1200点の幸せな式になりました」

翔太さん：「男性陣にも大好評でした。結婚式場どんな花が置かれているかなどは女性ほど意識して見ないものですが、そんな男性陣でさえ写真を撮ったり、感動しているようなリアクションをとったりしていましたから」

亜柚美さん：「出席してくれた友人に、“あんな大きな木が生えている会場、初めて見た！”と言われたのが印象的でしたね(笑)。装花には見えなかったようです。私も、もっと置きものっぽい感じになるのかなあと想像していましたが、本当に最初からそこに立っているようでした。それほど、完成された空間に仕上げられていたんだと思います」



吉野：「そんなふう喜んでいただくと、言葉にならないくらい嬉しいです。式後、ダイレクトに新郎新婦からの声を聞かせていただく機会はあまりないので、今日は本当にいい機会をいただきました。どうもありがとうございます」

黒沢：「私も嬉しいです。毎回同じことの繰り返しではなく、“このホテルってこんなポテンシャルを持っているんだ！”と、皆さんに改めて気づいていただくことも、私は発信する仕事のひとつと考えています。これからも、ホテル、MUKUさんの力を借りて、そのカップルだけの、唯一無二の空間づくりにチャレンジしていきたいです」



黒沢祐子
Yuko Kurosawa
大学卒業後、OLを経て株式会社Plan-Do-Seeへ入社。ウエディングプランナーへ転身。2008年より独立し、現在までに900組以上の結婚式を担当。2017年に株式会社YUKOWEDDINGを設立。



脇阪翔太さん・亜柚美さん
Shota, Ayumi Wakisaka
2018年、パレスホテルで挙式。ふたりが好きな「ロザンゼルス」をコンセプトに、ロスの乾いた景色を彷彿とさせる会場演出を黒沢がコーディネートした。



葛谷剛光
Yoshimitsu Tsutaya
メゾンブランドのデコレーションを中心に、ファッションショーやウエディングなど数多く手がける。植物の魅力を見極め、最大限に生かしたデザインで、空間を「別世界」に導いてくれる。Massa & Artistsを代表するアーティスト。



吉野絵美
Emi Yoshino
ブライダルフロリスト、パリへの短期留学を経て、Massa率いる「MUKU」に所属。「パレスホテル東京」での様々な空間コーディネートを担当。新郎新婦はもちろん、ホテルからの信頼も厚いフラワーアーティスト。



THE LATEST MUKU

MUKU

Yuko
Kuro
Sawa



人生の重大な1ページを彩るウエディング。
だからこそ、そのカップルだけの
"好き","思い出"をつむいだ、
唯一無二の空間で祝福したい……。

そんな共通の思いを抱く
ウエディングプランナー・黒沢祐子と
MUKUが織りなすニュータイプの空間。
それはどのように創られていくのか。

